

思いはばたく 音楽の日
INAMORI
ミュージック・デイ 2025
シンフォニックコンサート

Daichi Deguchi

指揮
出口大地

指揮



© hiro.pberg_berlin.



© Ariga Terasawa

ピアノ

牛田智大
Tomoharu Ushida

中高生

300名

無料招待あり

詳細は裏面へ



© 井上写真事務所 井上嘉和

管弦楽

京都市
交響楽団

City of Kyoto
Symphony Orchestra

2025 11/3 月・祝
14:00 開演 (13:00 開場)
京都コンサートホール 大ホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車
出口1・3番から南へ徒歩約5分

全席指定 2,000円

チケット発売
8/27(水)

プログラム

ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 op.64

開演前 (13:30~) は、指揮者による「プレトーク」をお楽しみください。
「プレトーク」は ホール・ステージ上に開催します。

コンサートの
詳しい情報は
こちらから



◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◆未就学のお子様は入場不可のため、1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください(料金)お子様お1人につき1,000円【受付締切】2025年10月27日(月)までに京響(075-222-0347)へお申し込みください。◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取り扱います(窓口で手帳等の証明書を提示ください)。

チケットご予約

●京都コンサートホール (075) 711-3231 ●ロームシアター京都 (075) 746-3201 ●24時間オンラインチケット購入 <http://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード: 301-689 ●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード: 52453

主催: 公益財団法人稲盛財団

共催: 京都市交響楽団 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

後援: 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都銀行、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

「INAMORI ミュージック・デイ」では、毎年さまざまなイベントを開催しています。

11月3日「文化の日」に、京都市交響楽団と国内外で活躍するアーティストによるシンフォニックコンサートを開催。
また同時期に、ミニコンサートや、招聘アーティストが学校を訪問して行うスクールコンサート&レッスンなども実施し、
より多くの方々が、音楽と出会う機会を創出します。



© hiro.pberg_berlin.

指揮： **出口 大地** Daichi Deguchi

第17回ハチャトゥリヤン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ特別賞。2021年にはベルリン放送交響楽団の公演にてヴラディーミル・ユロフスキ氏のアシスタントを務める。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、アルメニア国立交響楽団等の指揮を経て、2022年7月、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にて日本デビューを飾る。その後京都市響、読売日本響、仙台フィル、日本センチュリー響、群馬響、神戸室内管、新日本フィル、東京都響、兵庫芸術文化センター管、大阪フィル、東京響、神奈川フィル、大阪響と立て続けに共演し、今後も日本各地のオーケストラへのデビューが決定している。2024年9月からの1年間、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団のアシスタントコンダクターに選任。

大阪府豊中市生まれ。関西学院大学法学部卒業後、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)卒業。2023年3月ハンスアイスラー音楽大学ベルリンオーケストラ指揮科修士課程修了。指揮を広く上淳一、田代俊文、三河正典、下野竜也、クリスティアン・エーヴァルト、オペラ指揮をハンス・ディーター・パウムの各氏に師事。またネーメ、バーヴォ、クリスティアン・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、ヨハネス・シュレーフリ、井上道義、沼尻竜典各氏らのマスタークラスにオーディションを経て招待され、薫陶を受ける。公式ホームページ <https://daichideguchi.wixsite.com/daichideguchi>



© Ariga Terasawa

ピアノ： **牛田 智大** Tomoharu Ushida

2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第2位、ワルシャワ市長賞、聴衆賞。2019年第29回出光音楽賞。2024年リーズ国際ピアノ・コンクール聴衆賞。2025年第51回日本ショパン協会賞。

2012年、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳で ユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。2015年「愛の喜び」、2016年「展覧会の絵」、2019年「ショパン：バラード第1番、24の前奏曲」、2022年「ショパン・リサイタル2022」はレコード芸術特選盤に選ばれている。

シュテファン・ウラダー指揮ウィーン室内管(2014年)、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管(2015年/2018年)、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィル(2016年)、ヤツェク・カスプシク指揮ワルシャワ国立フィル(2018年)、トマーシュ・ブラウネル指揮ブラハ交響楽団(2024年) 各日本公演のソリストを務めたほか、全国各地の演奏会で活躍。2025年9月には、アンナ・スウコフスカ=ミゴイン指揮ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団日本公演のソリストとして6公演に出演。このほか、その音楽性を高く評価され、これまでにプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管モスクワ公演や、ワルシャワ、ブリュッセルでのリサイタルに招かれるなど活動の幅を広げている。

ローム ミュージック ファンデーション 2023・24年度奨学生。江副記念リクルート財団第53回奨学生。



© 井上写真事務所 井上嘉和

管弦楽： **京都市交響楽団** City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。<身近な存在として、市民に愛され誇りとされる><文化芸術都市・京都の象徴となる>オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2025年度は、「王道!新斬!」を主催公演のテーマとし、京響ならではの独自性と魅力ある公演を展開する。2026年には創立70周年を迎え、<世界に向けて最高の音楽を発信し続ける>オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

関連プログラムのご紹介

「INAMORI ミュージック・デイ 2025」ミニコンサート

美術館で京都市交響楽団のメンバーがアンサンブルを奏でます。
音楽と美術、二つの芸術の出会いをぜひお楽しみください。

京都市京セラ美術館 中央ホール

2025年 8月24日(日)・9月4日(木)・10月12日(日)
13:00~、15:00~(各日・各回30分公演)

出演：京都市交響楽団 協力：京都市京セラ美術館



ミニコンサートの様子

© 京都市交響楽団

ご招待

中高生対象に
300名を
無料でご招待します



申込締切：10月6日(月)

(お申込はこちら)

- ・入場の際にはご本人の学生証のご提示が必要になります。
- ・同伴者(未就学児を除く)は1名まで同時にお申し込みできます。
- ・応募者多数の場合は抽選とし、招待メールの送信をもって当選の発表といたします。



稲盛財団

「人類の未来は、科学の発展と人類の精神的な深化のバランスがとれて、初めて安定したものになる」という創立者 稲盛和夫(京セラ株式会社 創業者)の理念のもと、1984年に設立されました。国際賞「京都賞」、研究助成、社会啓発の三つの事業を通じて、学術の発展と文化芸術の振興に貢献しています。